

長島の

歌人集まる

広場あり

長島文芸

ながしまぶんげい

巻末に

川柳募集の

告知あり

明神俳句会

地下道にねずみの走る多喜一の忌

鶯や口笛上手き孫娘

愛想良き郵便夫来る二月かな

椿咲く古墳の岬暮染まる

あととりを語る表具屋春の雲

夜勤終へ帰る朝空春の雲

淵脇 護

二階堂妙子

白男川孝仁

大堂 早苗

脇田 武志

関 喜久雄

ゆつたりと余生気どらず藪椿

紅椿日面に猫うづくまる

腕の中のびする小犬光る

紺モンペ島の畑に春が来る

椿咲くマリア像立つ島岬

何もなく過ぎしがごとく春の雲

山寄加代子

追口 君代

肥後 広行

大堂 正弘

関 佳代美

二階堂恵子

長島短歌会

梅の花香る小枝でさへづりし目白の声の透る清しさ

牧草を刈りみてときめく露の臺水なき小川の砂州に摘みたり

観客のなき角力もよしとせり行司の呼び出すうるわしき声

鶴の群五・六十羽が旋回し北へ去り行く列整へて

集落の人らこぞりて鹿尾菜刈りし思い出遠く引き潮の磯

北風の吹けば荒れ田の葦さわぐ亡夫のため息耳に残りて

吾が植ゑし大根葉はやわやわと風の行方を追うごとなびく

雲を出でし朝日の及ぶ庭に立つ時折寒風吹きて通れり

樫平 頼子

米尾 和子

坂之下典子

中山タマエ

浜田美代子

浜畑 松枝

松元 睦子

岩下 ち江

一般作品

名を呼べば足にスリスリ身を寄せて娘飼いたる猫の瞳優し

富士が峰窓ながめつつ桜花朝の温泉孫と遊びて

細りたる手を差し伸べて「おかあさん」と亡夫の細き声を忘れじ

見えぬ敵おさえる武器もなきままに春来て花見さへ自粛とふ

愛しい二度なき友よ楽しむや子供出来たり二度人生や

寒風を突いて開ければ円き月 「俳句」

小林 貢

中飯屋辰子

後藤ヨシエ

母木 良平

町田 末則

宗方 清明

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



『昭和の子どもお店屋さん』

作：高部晴市

昭和30年代の東京の商店街と昔なつかしい子どもたちの姿を描いた内容です。



『歴史ごはん』

監修：永山 久夫

歴史上の人物たちが食べたかもしれない料理を自分でも作って食べてみませんか？

町立 指江図書館 ☎ 0996-86-6500

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1111